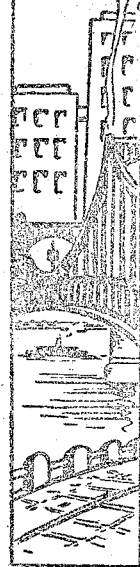


論 說

迎 年 の 辭



水野 鍊 太郎

歲茲に新に昭和十六年を迎ふ謹んで 皇室の彌榮を頌し奉り邦家の隆昌を祈る。
顧みれば昨十五年は屢次内閣の交迭を始め幾多の事件頻發し頗る多事多難を免かれざりし一年
であつた。本年も亦四國の情勢に顧み更らに多事多難なるは疑ふべくもない、獨伊と條約を締結し
て三國の國際關係を強化し日華兩國間に基本條約が調印せられ事變處理の基礎的條件が決定せ
られたるは慶祝すべきも我國が眞の難局に立つべきは寧ろ今後にあらざるなきか、高度國防國家建
設が策せられ國土計畫が唱へらるゝも決して故なきことでない。

○ 今日綜合的交通問題即ち海運陸運空運等の輸送機關乃至設備の重要性に鑑み分立的或は對立的
でなく相互の連絡整備を検討しなければならぬ、特に我國は東亞共榮圈の指導的立場に在るが故

に國內交通狀態の上に根本的再檢討を加へて新體制に即應したる新交通政策を確立し密接不可分の關係に在る大陸との關聯を企圖せざるを得ないものがある。由來我國に在つては比較的交通便利關中道路の重要性を深く認識せず其の重大機能を輕視するの嫌あるを免かれ難い感がある。

○ 政府當局に於ては既に已に新京濱國道の築造、下關門司間隧道の開鑿に着工し尙重要地方道の調査に従ひ、また將さに東海山陽地方の國道改良を計畫せらる、生産擴充上より見るも將又文化向上の點より見るも道路の改良整備が現下の我國情下に於ては急務中の急務である換言すれば道路政策の再建は財政政策と睨み合はせ最も果斷に又急速に遂行すべき重大問題である。

○ 高度國防國家の建設に伴ひ國土計畫が策せらるゝことは當然の事理である。即ち道路に就て之を視るに道路の機能が交通運輸、防火或は衛生等の方面に發揮せらるゝことは疑なき所なるも更らに今後に於ては防空の方面に於て道路構築上防空壕に或は飛行機發着所に利用し得らるべきの機能を具へしめなければならぬ。之れ道路政策上の重大案件なりと思量する所である。

一言所懐を述べて迎年の辭とす。